

第七十四回帝國議會
衆議院

地方鐵道法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
地方鐵道法中改正法律案(政府提出)
軌道法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月四日(土曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高見 之通君

理事森田重次郎君 理事福田 悌夫君

理事松川 昌藏君

清 寛君

大野 一造君

太田 理一君

會木 重貴君

小田 榮君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官

鐵道參與官

鐵道省監督局長

鐵道省運輸局長

鐵道省建設局長

鐵道省工務局長

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道法中改正法律案(政府提出)

軌道法中改正法律案(政府提出)

○高見委員長 ソレデハ是カラ會議ヲ開キ

マス、一寸申上ゲテ置キタイノデアリマス

ガ、軌道法中改正法律案ト云フ中ニ「軌道

法中左ノ通改正ス」ノ次ニ「第十九條中「第

三十三條ノ二」ヲ「第二十二條ニ改ム」ト

云フノガ、官報ニ「三十二條」ト書イテアリ

マスノハ、三十三條ノ誤デスカラ訂正シテ

置キマス、是ヨリ質疑ニ移リマス、通告順

ニ依ツテ之ヲ許シマス、福田悌夫君ニ御願

シマス——福田君

○福田委員 本案ハ主トシテ事務的ナ改正

デアリマシテ、別段大シタ異存ハナイノデ

アリマスカ、二三ノ點ニ付テ簡單ニ御尋シ

テ見タイト思フノデアリマス、既ニ前議會

ニ於キマシテ陸上交通事業調整法ガ通過シ

マシテ、地方鐵道、軌道、自動車業等ノ陸

上交通ニ付テハ調整ガ行ハレテ居ルノデア

リマスカ、今回更ニ地方鐵道法ノ二十五

條ヲ改正セラレマスコトハ、一見重複ヲ來

スヤウナ感ジガスルノデアリマスカ、其ノ

必要ノ眞意ハ奈邊ニアルカ、詰リ二十五條

ノ改正ト交通事業調整トノ關聯ニ付テ御尋

致シタイノデアリマス

○鈴木政府委員 御質問ノ公益命令ノ點デ

ゴザイマスルガ、此ノ度地方鐵道法ノ改正

ニ付キマシテ、現行法規ニ於キマシテハ、

直通運輸及ビ連絡運輸ノミニ付テ命令シ得

ルコトニナツテ居ツタニ拘ラズ、運賃其ノ

他ニ對スル運輸協定ヲ命ジ得ルコトニナリ

又鐵道軌道ニ付テノミデアツタモノヲ、陸

上ノ他ノ運送事業者ニ對シテ命令シ得ルコ

トニナツタニ付キマシテ、ソレガ調整法ニ

於テモ命令シ得ル事項ニ該當致シマスル關

係上、御質問ガアツタモノト存ジマスルガ、

調整法ニ於キマシテハ、調整委員會ヲ設置

致シマシテ、一定ノ調整區域ヲ定メマシテ、

ソレヲ綜合的ニ調整整備スル所ノ觀點カラ

立法サレタ所ノ法律デアリマシテ、所謂或

ル區域ニ於ケル總テノ交通事業者ヲ一體ト

見ル觀點カラ、是等ノ事項ヲ必要トスルノ

デアリマシテ、大掛リノコトナノデアリマ

スルガ、此ノ度ノ改正ニ當リマスル所ノモ

ノハ、個々ノ鐵道ニ付キマシテ他ノ事業者

ト直通運輸ヲ命ジ、連絡運輸ヲ命ジ、又ハ

運輸協定ヲ命ズル、是ハ固ヨリ公衆ノ利便

或ハ調整ノ意味カラデハアリマスルケレド

モ、調整法ノ如ク大掛リノモノデハナイノ

デアリマシテ、或點ニ於テハ交通調整法ノ

發動ト俟ツテ、共々ニ交通調整ノ趣旨ヲ全

國のニ徹底シテ行ケル爲ニ、斯ウ云フモノ

ヲヤツタト御考ヘ下サレバ結構カト思ヒマ

ス

○福田委員 大體諒承致シマシタ、次ニ地

方鐵道ニ對スル營業繼續補償ノ際ノ補償金

ノ限度ハ「益金又ハ益金及補助金ト合セ建

設費ノ百分ノ七ニ相當スル額」トナツテ居

ルノデアリマスルガ、今回ノ改正ニ依ツテ

之ヲ百分ノ五ニ低下サレタノデアリマス、

其ノ理由ニ付テ一通リ御説明ヲ願ヒタイト

思ヒマス

○鈴木政府委員 地方鐵道法第三十六條ノ

三ニ於キマシテ、政府ニ於テ地方鐵道ニ接

近シ又ハ並行シタル所ノ鐵道ヲ敷設シタル

ガ爲ニ、之ニ該當スル區間ニ於キマシテ打

撃ヲ受ケマシテ、益金ガ減少致シマシタ場

合ニ於キマシテハ、政府ハ之ニ對シテ補償ス

ルコトガ出來ルノデアリマスルガ、其ノ補

償ノ限度ト云フモノハ、其ノ鐵道ガ得テ居

リマスル益金ト、或ハ其ノ鐵道ガ得テ居リ

マスル益金ト補助金ト合セタ額ト、其ノ三

十六條ノ三ニ依ツテ補償スル額トノ合計ガ

建設費ノ百分ノ七ニ相當スル額ヲ超エテハ

ナラナイ、斯ウ云フ規定ナノデアリマスルガ

此ノ制定セラレマシタ當時ハ、地方鐵道補

助法ガ建設費ノ百分ノ七ヲ限度ト致シテ居
リマスルモノト適合シテ作ラレタノデアリ
マスルガ、其ノ後補助法ハ改正セラレマシ
テ、補助法ニ依リマスルト、建設費ノ四分
マデハ補助出來ル、サウシテ益金ガアレバ、
其ノ四分カラ減ラスノデアリマスルガ、但
シ益金ガ百分ノ一以下ナル場合ニ於キマシ
テハ、ソレダケハ減ラサナイノデアリマス、
隨テ補助法ニ依ル補助ガ、益金ノ補助ト益
金ト合セテ建設費ノ百分ノ五ニナルコトガ
アリ得ルノデアリマス、其ノ補助法ノ趣旨
ノ百分ノ五ト合セル意味ニ於キマシテ、此
ノ三十六條ノ三モ百分ノ七ヲ百分ノ五ト改
正致シタイノデアリマス

○福田委員 此ノ改正ガ行ハレマスル結果、
買收セラレル鐵道會社ハ、相當ノ不利益ヲ
蒙ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスルガ、
其ノ邊ノ利害得失ハ果シテ如何デアリマセ
ウカ、一ツ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイと思
ヒマス

○鈴木政府委員 改正ノ結果、所謂買收價
額ニ於テ、地方鐵道或ハ軌道ガ損ヲスルカ
得ヲスルカト云フ問題デアリマスルガ、此
ノ度ノ買收ニ關スル規定ノ改正ハ、根本ニ
於テ改正致シタイノデハナイノデアリマス、
隨ヒマシテ所謂買收價額、其ノ根本ハ大體

現行ト同ジデアル、唯第三回五分利ノ時價
ガ立タナイガ爲ニ改正ヲ餘儀ナクサレタノ
デアリマスカラ、其ノ換算方法其ノ他ニ於
テ多少ノ狂ヒガ生ジテ來ルノデゴザイマス、
然ラバドレダケノ程度ガ違ツタカト云ヒマ
スト、ソレハ第三回五分利ノ時價ガ額面ヲ
超シテ居ルカ、或ハ額面以下デアルカト云
フ問題デアアルノデアリマスガ、若シモ額面
以上デアレバ地方鐵道ハ多少不利益ニナル、
額面以下デアレバ地方鐵道ハ得デアアル、額
面ト同様デアレバ今ト同ジデアアル、斯ウ云
フコトニナルノデアリマス、然ラバ額面以
上ノ場合ニ於テ、ドノ位ノ損ヲスルカト云
フコトヲ申上ゲマスルト、計算ガ複雑デア
リマスルカラ、結論ヲ簡單ニ申上ゲマス、
五分利以上ノ收益率ノアツタ會社ニ於キマ
シテハ、大體一分九厘チョットノ利益デア
リマス、ソレハ所謂五分利公債ガ百二圓ト
致シテデアリマス、赤字ノ會社或ハ収支ト
ントンノ會社ニ於キマシテハ全然違ヒガア
リマセス、ソレヨリ收益率ガ上リマシテ、
五分近クニナリマシタモノニ於キマシテハ、
大體ニ於キマシテ五分以上ノ收益ヲ得テ居
ル會社ノ半分、所謂百二圓ノ場合デアレバ、
九厘位ノ損ヲスルト云フコトガアリ得ルト
思フノデアリマス、併シナガラ斯ウ云フコ

トハ現在ニ於キマシテモ、買收ノ日ト交付
ノ日ガ隔ツテ居リマス爲ニ、時價ノ變動ニ
依リマシテ、此ノ位ノ差異ハ生ズルコトガ
間々アリマスノデ、此ノ今度ノ規定ニ依ル
影響ト申シマスガ、ソレハ五分利公債ガナ
クナツタト云フ已ムヲ得ナイ現象ト、時價
ノ變動カラ起ルコトデアルト云フコトヲ、
御諒承置キヲ願ヒタイと思ヒマス

○高見委員長 松川昌藏君

○松川委員 私ハ地方鐵道ニ關スル問題デ
ハアリマセスガ、之ニ關聯シマシテ一二點
御同致シタイと思ヒマス、ソレハ省營「バス」
ノ問題デアリマス、省營「バス」ノ問題ニ付
キマシテハ、鐵道省ニ於キマシテハ創始以來
銳意之ニ努力ヲセラレテ居ルヤウデアリマ
スガ、併シ一面ニ於キマシテハ、鐵道省ニ
於テハ地方ノ自動車業者ノ反對ヲ非常ニ恐
レ過ギテ居ルヤウデアリマス、其ノ爲ニ省
營自動車ノ發達ト云フモノヲ阻碍シテ居ル
ノデアリマスガ、之ニ付キマシテ鐵道省ニ
於テハ如何ナル方針ヲ執ツテ居ルノデアリ
マセウカ、一例ヲ申上ゲマス、一之關、吉岡
間ノ省營「バス」ハ、昭和十一年度ノ鐵道會
議及ビ議會ノ協賛ヲ經テ成立致シタノデア
リマス、其ノ當時儲カ十七八線アツタと思ヒ
マスガ、然ルニ此ノ豫算ヲ取り、鐵道會議

ノ決定ニ依ツテ出來マシタ省營「バス」ガ、
今ダニ實現致シテ居ラナイノデアリマス、一
面ニ於キマシテハ、業者トノ相剋摩擦ヲ考
慮セラレル點モアリマセウ、併シナガラ既
ニ省營「バス」ガ國營鐵道ノ一部トシテ、國家
ニ於テ之ヲ爲スト云フコトヲ決定致シマシタ
以上、或ル場合ニ於キマシテハ、多少業者
トノ相剋摩擦ヲ起スコトハ豫期シナケレバ
ナラヌノデアリマス、サウ云フコトノナイ
方ダケヲ拵ヘテ、サウ云フ問題ノアル所ハ
後廻シニスル、斯ウ云フコトニナルト、省營
「バス」ノ豫算ハ一本デアツテ、大體不可分
ニナツテ居リマス、其ノ十八線ナラ十八線
取ツタモノヲ、五線ナリ六線ヤツテ、アト
ノ難カシイモノヲドン／＼殘シテ行キマス
ト、次年度ノ省營「バス」ノ實行ノ問題ニ付
テハ、又錯綜シテ參ル、サウシテ豫算ノ關係
ニ於テ是ガ實現出來ナイコトニナル、或ハ
物價ノ騰貴、資材ノ騰貴其ノ他ニ依リマシ
テ、最初取ツタ豫算デハ實行ガ出來ナイコ
トニナルノデアリマス、隨テ鐵道省ニ於テハ、
鐵道會議ハ通ツタ、豫算ハ取ツテ居ルケレ
ドモ、何處々々ノ間ノ線トシテノ豫算ハナ
イノダ、斯ウ云フ御説明デアリマスガ、私
ハ其ノ點ニ承服出來ナイノデアリマス、苟
モ何線カラ掛ケテ、サウシテ總豫算ヲ取ツ

タ以上ハ、其ノ總豫算ノ範圍内デ、其ノ年
度内ニ於テ大體之ヲ實現スルト云フ見込ガ
ナケレバナラスト思フノデアリマス、即チ
省營「バス」ニ付キマシテ、鐵道省ハドウ云
フ方針ヲ執ツテ居ルカ之ヲ御伺致シマス
○山田政府委員 御答申上ゲマス、省營「バ
ス」ニ付キマシテハ、鐵道省ト致シマシテ
ハ、既ニ豫定路線ノ選定ヲセラレ、又豫算
ガ計上セラレマシタモノニ付キマシテハ、
出來ルダケ早く之ヲ實施ニ移シタイ、斯ウ
云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯實際問題ト致
シマシテ、省營「バス」ノ實施ニ付キマシテ
ハ、道路ノ關係デ地方ノ府縣並ニ内務省ト
ノ間ニ色々問題ガアリマシテ、例ヘバ道路
ノ改良ニ付キマシテモ、府縣デ縣債ヲ募集
セラレルトカ、色々府縣ノ方ノ豫算ノ關係
ガアルノデアリマス、鐵道省ノ實施計畫ダ
ケデハ、其ノ通り中々實施ガ出來兼ネル、
斯ウ云フ風ナ事情ノ爲ニ、各線別デナク、
全體トシテノ豫算ニナツテ居ル譯デアリマ
ス、是モ内務省方面ト道路企畫或ハ分擔金
其ノ他ニ付テ漸次協定ヲ遂ゲテ參リ、最近
ハ餘程良イ狀態ニナツテ居ル次第デアリマ
ス、尙ホ地方ノ業者トノ關係ニ於キマシテ
ハ、是ハ兎ニ角其處ニ業者ガ既ニ業務ヲ行
ツテ居ラルルノデアリマシテ、御話ノ如ク

其處ニ省營自動車ヲ實施致スノデアリマス
カラ、ソコニドウシテモ業者トノ間ニ色々
ナ問題ガ起ル、此ノ點ニ付キマシテモ、鐵
道省ト致シマシテハ、出來ルダケ其ノ地方
ノ交通情勢或ハ業者トノ圓滿ナル協調ノ下
ニヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデア
リマス
○松川委員 道路トカ縣等ノ關係ニ於テ延
ビルコトハ、是ハ已ムヲ得マセヌガ、此處
デ承ツテ置キタイコトハ、一之關、吉岡間
ノ省營「バス」ガ、只今申上ゲマシタヤウニ、
昭和十一年度ニ於テ議決セラレテ居ルニ拘
ラズ、今尙ホ是ガ實現シナイト云フ理由ハ
何處ニアルカ、之ヲ御伺致シタイ

○山田政府委員 十二年度及十三年度ニ
互リマシテ、官廳一般ニ土木營繕費ノ繰延
或ハ繰越ヲ大藏省ノ方カラ相談ヲ受ケマシ
テ、其ノ結果百万圓内外ノ豫算ヲ次年度ニ
繰延バサザルヲ得ナクナツタノデアリマス、
隨テ十二年度、十三年度ニ於キマシテハ、
新線開業ガ、豫算ノ方ガサウ云フヤウナ關
係ニナツテ居ル爲ニ、見込通り實施ガ出來
ナイト云フ點ハ御諒承願ヒタイと思ヒマス
○松川委員 只今ノ御答辯ニ付キマシテ
ハ、當時ノ狀況ガ十分御分リニナラヌヤウ
デアリマスカラ、簡單ニ御説明申上ゲル次

第デアリマス、昭和十一年ニ於キマシテ、
一之關、吉岡間ノ省營「バス」案ガ通りマシ
タ場合ニ於キマシテハ、其ノ當時業者ノ反
對ガアルト云フ理由デ、鐵道省ニ於テハ之
ヲ考慮致シタノデアリマス、私共其ノ當時
陳情致シタノデアリマスルガ、其ノ當時ニ於
キマシテハ、業者ノ非常ニ強イ反對陳情モ
相當參ツテ居ル、彼處ノ築館町ニアリマスル
所ノ大キナ自動車會社ガ、地方ノ政治家、有
力ナル代議士ヲ動カシテ、鐵道省ニ反對陳
情ヲシタノデアリマス、其ノ結果將ニ實施
セントスルバカリニナツテ居リマシタ此ノ
路線ヲ、昭和十二年ハ繰延ベタノデアリマ
ス、ソレデ私共モサウ云フ陳情ガアルナラ
バ、一年ノ繰延ハ洵ニ已ムヲ得ナイ、併シ
ナガラ來年度ニ於キマシテハ、其ノ利害關
係ヲ十分考慮シテ、實施シテ貰ヒタイト云
フコトヲ陳情致シタノデアリマス、サウシ
テ其ノ當時ニ於キマシテ色々調査ラシ、地
方カラモ沿線ノ町村長其ノ他ノ者ガ全部連
署致シマシテ、促進ノ陳情ヲ致シタノデア
リマス、色々ノ關係ガアリマシテ、十二年
ニ於テ之ヲ實施スルト云フコトニナツタノ
デアリマス、其ノ當時仙臺ニ於キマシテハ、
仙臺ノ鐵道局ニハ自動車課ト云フモノガ其
ノ時初メテ出來タノデアリマス、其ノ以前

ニハ自動車課ハアリマセヌデシタ、ソシテ
自動車課長ガ初メテ赴任シタノデアリマス、
自動車課ヲ設ケタ理由ハ、一之關、吉岡間ノ
省營「バス」等ニ著手スルト云フコトガ、一
ツノ大キナ理由デアツタノデアリマス、然
ルニ自動車課長ガ著任シマシテ、關係町村
役場ニ參リマシテ、今回ハ反對ガアツテモ斷
乎トシテ之ヲ實施スルト云フコトヲ言明致
シタノデアリマス、私共町村民ハ之ニ依ツ
テ非常ニ安心致シタノデアリマス、ソコデ
色々事情ヲ聽キマシテ、道路ハドウスル、
車庫ハ何處ニ置クト云フヤウナコトマデ大
體決定致シタ、是ハ仙臺ノ鐵道局ヲ御調ニ
ナレバ十分分リマス、其ノ當時如何ナル事
情デアリマシタカ、仙臺ノ鐵道局ト鐵道省
ノ自動車課ニ於キマシテ、連絡ガナカツタ
カドウカ分リマセヌガ、更ニサウ云フ風ナ
狀況ニナツタニモ拘ラズ、其ノ後ニ於キマ
シテ又猛烈ナ反對運動ガ起ツタ爲ニ、鐵道
省ニ於テハ其ノ年モ繰延ト云フコトニナツ
タ、サウシテ鐵道省内ニ於キマシテモ、反對
陳情ガアルノダカラ、何トカシテ之ヲ打消
スダケノ材料ハナイカト云フヤウナコトヲ、
暗ニ言ハレタノデアリマス、私共モ第一線
ニ立ツテ贊成ノ陳情書ヲ作ツタノデアリマ
ス、サウシテ其ノ結果ガ種々考慮シテ、昨

年度ハ反對ガアツタケレドモ、本年度ハ調査ノ結果其ノ反對ハ理由ガナイ、鐵道省ニ於テハ反對ダケデハ、是ハヤライナイトカヤルトカ云フコトヲ決メルモノデヤナイカラ、反對ヲ押切ツテモヤルト云フコトヲ言明シテ、各町村ニ對シテ一應ノ觸ヲ出シテ居ルニ拘ラズ、其ノ年モ亦ソレヲ中止致シタノデアリマス、サウシテ十三年度、十四年度ニ於テモ豫算ガナイト云フコトヲ實現ヲシマセヌ、其ノ後ニ於テ決定セラレマシタ他ノ多クノ線ガ、著々實現致シテ居ルノデアリマス、私共ハ斯ウ云フヤウナ事情ニ於キマシテ、鐵道省ニ於テハ或ハ豫算ノ關係デアルトカ、道路ノ問題云々、或ハ圓滿ナル業者トノ協調ト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマスルガ、圓滿ナル業者トノ協調ト云フコトモ程度ニ依リマス、サウシテ反對陳情ニ付テ一言申上ゲテ置キマス、地方民ノ實情ト云フモノハ、何カ知ラ業者ニ、或ハ其ノ他ニ反對ガアツテ、サウシテ其ノ理由ヲ書イテ判ヲ取リマスルト——ソレハ反對デアラウト、賛成デアラウト、大抵ソレヲ捺クモノデズ、其ノ反對陳情書ヲ鐵道省ハ見テビツクリスル、ソコデ私共ガ賛成ノ陳情書ヲ取リマス、同ジ反對ノ判ヲ捺シテ來タ者ハ、又賛成書ニ捺ク場合ガアリマス、ソ

コデ鐵道省ニ於キマシテモ、ドツチガ本當ノ賛成力反對カト云フコトガ分リマセヌ、其ノ結果或ハ有耶無耶ニナルノデアリマセウガ、一之關、吉岡間ノ問題ニ對シマスル所ノ反對陳情ハ、賛成陳情ヲ御調査下サイマスレバ、同ジ人ガ雙方ニ出テ居ルノガアリマス、サウシテ業者ニ於キマシテハ、大體年々デアリマセウガ、省營「バス」ニ對スル全面的ノ反對ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウシテソレガ既ニ議會ニ於テ可決サレテ居ルトシマシテモ、業者ガ反對ヲスルト、鐵道省ハ實施シナイノダト云フヤウナコトハ、皆是ハ分ツテ居ル、隨テ反對デハナクデモ、多少不服不滿ガアルト云フコトニナリマスルト、反對陳情ヲ出スト云フノヲ悞レテ鐵道省ハ之ヲヤライ、私ハ一之關、吉岡間ノ省營「バス」ノ如キハ、最モ好イ適例ダラウト思フノデアリマス、其ノ爲ニ是ハ犧牲ニナツテ、地方民、關係町村長ガ數回東京ニ陳情ニ參ツテ居リマス、其ノ時私共モ自動車課長其ノ他ニ對シマシテ陳情シテ、諒承シタ、今度ハヤルト言ヒナガラ、反對ガアルカラヤライ、之ヲ要スルニ反對ガアレバ、鐵道省ハヤライナイトハ申シマセヌガ、事實ハ反對サハアレバヤライナイト云フコトガ、業者ニハチヤント分ツテ居リマスカラ、サ

ウ云フ場合ニ於テハ、地方ノ分ライ人ノ反對ノ判ヲ百デモ二百デモ取ツテ、代理人ヲ頼ンデ、縣會議員乃至代議士ニ頼ンデ、寄越シマス、大體延ビル、斯ウ云フコトニナリマシテハ、省營「バス」ニ對スル國ノ根本方針ト云フモノガ確立出來ナイ、鐵道省ノ權威ニ關スルト思フ、ソレ故ニ其ノ當時ニ於キマシテ、斯ウ云フ問題ハ小サイヤウデアリマスケレドモ、苟モ地方ニ於テ反對ヲスルナラバ、國策ニ屬スル所ノ省營「バス」ヲ實現ガ出來ナイノダト云フコトヲ、地方民一般或ハ業者ニ之ヲ知レ渡ラシメルト云フコトガ必要ナリト考ヘマシテ、是非ヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ屢、陳情致シタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、十一年度ニ於キマシテ一之關、吉岡間ノ省營「バス」ト云フモノハ、反對ガアルカラ、緩和スルマデ待ツテ呉レト申サレタノデアリマスガ、十二年度ニ至ツテモ更ニ實現シナイ、十三年度、十四年度ニ至リマスルト、後カラ出來マシタ——岩手縣デ申シマスルト沼宮内、葛卷間、一戸、荒屋線ト云フヤウナ、其ノ後出來マシタ線ガボツ／＼著手ニナツテ居ル、斯ウ云フ事實ヲ縣民ガ見マスル場合ニ於テ、鐵道省ノ態度ト云フモノニ對シテ、非常ナ不滿ヲ持ツテ居ルノデア

リマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、此ノ路線ニ對スル所ノ案ガ通ツテモ、マダ實現シナイト云フ點ニ付テ、十分ニ分ルヤウナ御説明ヲ今一應御願シタイト思ヒマス

○山田政府委員 只今色々地方的ノ事情ヲ舉ゲラレテ詳シク御話ヲ伺ヒマシタガ、大體吾々ガ承知シテ居ルノト同様デアルヤウデアリマス、省營自動車ニ付キマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通り、必ズシモ先ニ決ツタモノカラ、順序通りヤルト云フコトハ、中々實際上行キ兼ねルノデアリマス、或ハ一之關、吉岡間ニ付キマシテモ、未ダ出來ナイト云フコトニ付キマシテハ、地方ノ方々ガ非常ニ待望ノ念ニ驅ラレテ居ラレト云フコトヲ御同情申上ゲル次第デアリマス、御承知ノヤウニ十四年度以降十六年度ニ互リマシテ、追加豫算ヲ要求致シマシテ居ルヤウナ次第デアリマス、是非ハ自動車ニ付キマシテハ從前ノ方針ヲ其ノ儘實行シテ行キタイト思ヒマス、一之關、吉岡間ニ付キマシテモ、出來ルダケ早く之ヲ實施致ス考デ居リマス

○松川委員 大體只今ノ御説明ハ諒承致シマシタガ、尙ホ申上ゲテ置キマスガ、一之關、吉岡間ノ省營「バス」ハ、元トアレハ國有鐵道ニナツテ、東北本線豫定線デツタノデ

アリマス、昔アソコヲ鐵道ガ通ルコトニナツテ居ツタノデアリマスガ、鐵道開設ノ初ニ於キマシテハ、土地ガ潰サレル、煤煙ヲ掛ケラレルト云フヤウナコトデ、アノ地方民ガ反對ヲシタ、其ノ爲ニ東北本線ガ海岸ノ方ニ追ヒヤラレタノデアリマス、隨ヒマシテ一之關、吉岡間ト云フモノハ、其ノ後五十年間不便ヲ忍ンデ居ツタノデアリマス、犧牲ニナツテ居ツタノデアリマス、ソレ故ニ實際ト致シマシテハ、アスコニ鐵道ヲ掛ケテ貫ヒタイト云フ地方ノ希望ガアルノデアリマス、鐵道ヲ掛ケテ貫ヒタイノデアリマスガ、現在ノ狀況カラ申シマスルト、其ノ豫算ヲ取ルコトガ困難デアリ、尙ホ過去ニ於テ鐵道ヲ追ヒヤツタト云フヤウナ事實モアリマスルノデ、希望ハ致シテ居リ、建議案等モ屢、出テ居ルノデアリマスルケレドモ、實現ガ出來ナイノデアリマス、ソコデアノ路線ハ地方カラ希望シタノデハナク、鐵道省ガ調査ノ結果必要アリトシテ、積極的ニ鐵道省カラ提案致サレタノデアリマス、私共ハ其ノ當時ニ於キマシテハ、省營「バス」ニナルト云フコトハ夢ニモ思ハナイ、唯鐵道ガ掛ルンダト云フノデ、鐵道ヲ掛ケテ貫ヒタイト云フコトヲ希望致シテ居ツタノデアリマス、然ルニ鐵道省ニ於テハ

調査ノ結果、ドウシテモ鐵道ノ代リニ省營「バス」ヲ掛ケナケレバナラスト云フコトニ決定サレタノデアリマス、サウシテ地方ノ關係町村ガ之ニ運動致シテ參ツタノデアリマス、然ルニ此ノ數年間ニ於ケル努力モ、未ダ酬イラレナイノデアリマス、豫算其ノ他ノ關係ハアリマセウガサウ云フ實情ニ於テ地方ニ於テハ切望致シテ居ツテ、既設ノ自動車會社タダツガ反對シテ居ルダケデアル、勿論自動車會社トシテハ反對スル譯デアリマスガ、ソレニ付テハ省營「バス」等ニ於テノ賠償規定モアリマス、勿論此ノ賠償ノ規定ハ完全トハ申シマセヌカラ、其ノ完全ナラザル點ガアルナラバ、鐵道省ノ方デ賠償規定ヲ改正シテ、業者並ニ國民ノ納得スル方法ニ於テ、一日モ速ニ是ガ解決ヲシテ貫ヒタイト思ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ次ハ地方鐵道ノ經營狀態デアリマス、聞ク所ニ依リマス、地方鐵道ハ色々ノ關係ニ依ツテ、經營ノ成立タナイモノガ澤山アルヤウニ承ツテ居リマシマス、經營狀態ハドウ云フ工合ニナツテ居ルカ、之ヲ御伺致シタイ

○鈴木政府委員 地方鐵道ハ全國ニ二百五十バカリアリマスルガ、現在ニ於キマシテハ、大體ニ於テ收入カラ支出ヲ引キマシタ益金ト云フモノハ、收入ニ對シテ六分位ナ程度デアリマシテ、其ノ益金ガ建設費ニ對スル收益率ハ大體五分位ノ程度ニナツテ居リマス、併シナガラ地方鐵道ハ國有鐵道ト關聯シマシテ、一體トナツテ日本ノ交通ノ使命ヲ全ウシテ居ルノデアリマスルカラ、是ノ運營ヲ維持シテ、其ノ效用ヲ高メル爲ニ、鐵道省トシテハ格段ノ注意ヲ拂フト共ニ補助ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ營業成績モ此ノ時代ノ影響ヲ受ケマシテ、概シテ言ヒマス成績ハ宜シクナツテ參リマシテ、建設費ニ對スル益金割合ガ六分以上ニ廻ツテ居リマスルモノハ、十一年度ニ於キマシテハ百分ノ十九シカナカツタモノガ、十二年度ニ於キマシテハ百分ノ二十四ト云フ風ニ向上シテ參リマシタカラ、此ノ影響ヲ受ケテ段々良クナツテ來ルダラウト思ヒマス、唯自動車ノ發達ニ伴ヒマシテ、ドウシテモ更生シ得ナイ地方鐵道ガアリマシタガ、ソレモ此ノ事變ニ因リマシテ殘存物件ノ處置ガ割合ニ容易ニ出來マスル關係上、二三廢止シタモノガアリマス、地方ノ交通事情上廢止シテモ差支ナイト私ノ方デ認メマシタモノニ付キマシテハ、廢止ノ許可ヲシテ居リマス

○松川委員 地方鐵道ノ現ニ運轉シテ居ルモノデ、無配當ノモノガアリマスカ、ソレカラ只今補助ヲシテ居ル地方鐵道ハ、補助ヲナクスルト經營ガ出來ナクナルカドウカ、此ノ點ヲ御伺致シマス

○鈴木政府委員 十二年ノ下期ニ於テ無配當ノ地方鐵道ガ百五十一アリマス、百分率ニスルト百分ノ六十一デアリマス、ソレカラ次ノ問題ハ補助シナイト廢止ニナルカドウカト云フコトデアリマスガ、吾々ノ方ニ於テ補助シテ其ノ鐵道ガ更生シ、運輸事業ノ成績ガ舉ル見込ノナイモノニハ補助致シマセヌ、左様御諒承置キテ願ヒタイト思ヒマス

○松川委員 只今ノ御説明ニ依ルト、地方鐵道ヲ經營シテ居ルモノノ中約六一%ガ無配當デアリ、又補助ヲ引去ルナラバ、大體ニ於テ經營ガ出來ナイ狀態ダト云フコトデアリマス、私ハ此ノ點カラ見テ、昭和十二年度ニ於ケル地方鐵道ノ業績ハ舉ツタト云フ御説明デアリマスガ、私ハサウハ考ヘナイ、ソレハドウ云フ點ニアルカト云フト、ヤハリ地方鐵道其ノモノノ缺陷デハナイカト思フノデアリマス、此ノ際ドウシテモ地方鐵道ヲ再檢討スル必要ガアルノデハナイカ、地方鐵道ノ經營出來ナイ理由ハ何處ニアルノデアルカ、利益ガナクモ之ヲ經營

シナケレバナラヌ理由ハ何處ニアルカ、勿論現在經營シテ居ル地方鐵道ハ、過去ノ實績ニ於テハ相當必要ガアツテ是ガ出來タモノト思ヒマスルガ、現在交通機關系統等ノ變遷ニ依ツテ、或ハ自動車其ノ他ノ發展ニ依ツテ、影響ヲ受ケテ發達ガ出來ナイノデアリマス、サウシテ私設鐵道ノ多クハ施設モ惡ケレバ運賃モ高ク、乗客ハ非常ニ不便ヲ感ズル、若シ之ヲ國營ニスルナラバ、地方民ノ被ムル利益ハ非常ニ大デアラウ、隨テ現在ニ於テ地方鐵道ヲ唯鐵道省ノ監督下ニ置イテ、此ノ儘ニシテ置イテ宜イモノカドウカ、將來之ヲ國有ナリ或ハ國ノ管理ナリニ移サナケレバナラスト思ヒマスガ、サウ云フ必要ハナイカドウカ、サウ云フ點カラ見テ、只今モ私設鐵道ハ國有鐵道ト一體ヲ成シテ交通運輸ノ仕事ヲ掌ツテ居ルノダト云フ御説明デアリマシタ、國有鐵道ニ於テハ多少言フベキ所ハアリマスケレゾモ、大體宜イ、日本ノ國有鐵道ハ世界ニ於テモ一番完全デ時間ハ正確デ事故ハ少イト云フコトニナツテ居リマスガ、併シドウモ東北地方ニ於キマシテハ、雪ガ降ルト何時デモ汽車ガ遅レル、最近ハ鐵道ノ時間ガ遅レルコトハ當リ前デアリマシテ、勿論時間ヨリ早く汽車ガ發ツコトハアリマセ

スガ、一時間、二時間遅レマシテ、停車場アタリニ聽イテ見テモ、今度ノ汽車ガ何時通ルカ來テ見ネバ分ラヌト云フコトニナツテ居ル、是ハ一時間カ二時間位遅レルト云フノデ、其ノ時間ニ行ツテ見マス、モウ先ノハ發ツテシマツタ、斯ウ云フヤウナ狀態デ、正確デアル所ノ日本ノ鐵道ニ於キマシテモ、日本全國デハ正確デアリマセウガ、東北地方デハ餘リ正確デハナイ、是ハ併シ雪ト云フ關係ガアリマスカラ、何トモ仕方ガアリマセヌガ、サウ云フ關係ニ於テ、國有鐵道ノ方ハ宜イノデアリマスガ、地方鐵道ニ至ツテハ洵ニ悲慘ナモノデアリマス、色々ノ點ニ付テ不便不利ガアルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テ地方鐵道ガ銳意努力シテ居ルケレドモ、ドウシテモ成績ガ擧ラナイ、表ノ上ニ於テハ或ハ利益配當ガ多クナツテ居ルトカ何トカ云フコトニナリマセウガ、段々進歩シテ來ル社會カラ見マスト、地方民ハコナ鐵道デハ満足ガ出來ナイノデアリマス、ドウシテモ將來之ヲ何等カノ方法デ國有鐵道ニスルナリ、或ハ國家ガ之ヲ管理スルナリシテ貰ハナケレバナラス所ノモノガアルノデアリマス、或ル場所ニ於テハ、鐵道ニ電氣モナクテ、「ランブル」ヲ點ケテ居ルヤウナ所モアルノデアリ

マス、隨テ事件トカ事故ト云フモノモ相當アルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、地方鐵道ノ將來ニ對シテ政府ハドウウヘテ居ルカ、此ノ點ヲ御伺致シマス
○鈴木政府委員 先程私が申上ゲタ言葉ヲ少シ誤解セラレテ居リマスノカ、私ノ申シ様ガ惡カツタノカ知リマセヌガ、自立スル見込ノナイ鐵道ニ於テハ補助シナイコトヲ申上ゲマシタノデ、今ノハ補助シナケレバ地方鐵道ガ、立行カナイ鐵道ガ多イト御解釋ニナリマシタガ、補助ヲシテ居ル會社ハ大體自立シ得ラレルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ今ノ地方鐵道ガ概シテ營業成績ガ惡イ、是ハ新シイ交通機關ガ出現シタルガ爲ニ、所謂舊態ノ鐵道其ノ儘ニ殘シテ置クコトハ、其ノ使命ヲ全フスル所以デナイカラ、國有鐵道ガ之ヲ買收スルナリ、借上ゲルナリシテシマツタ方ガ宜イガラウト云フ御質問デアリマスガ、御存ジノ如ク國有法ニ於キマシテ、一般運送ノ用ニ供スルモノハ國有トシテ居ルノデアリマスルガ、但シ地方ノ交通ヲ目的トスルモノハ此ノ限デナイノデアリマシテ、地方ノ交通ヲ目的トスル爲ニ地方鐵道ノ存在スルコトハ、國策上カラモ認メラレテアルノデアリマスルシ、又自動車ト鐵道トノ機

能其ノ他ニ於キマシテモ、各、長トスル所ガ、其ノ輸送能力其ノ他ニ於テアルノデアリマスカラ、一概ニ新シキ交通機關ガ出現シタカラト云ツテ、其ノ地方鐵道ヲ全然此ノ世ノ中カラ消シテシマフト云フ譯ニハ行カナイト思ヒマス、唯地方鐵道ヲ或ハ國有鐵道ニ買收シロト云フ御話カモ知レマセヌガ、買收スルト致シマシテモ、可ナリ多額ノ交付公債ヲ必要トシマスノデ、今俄ニ之ヲ實現スルコトモ出來ナイ、借上ゲノ問題ニ付キマシテハ、昨年二ツバカリノ鐵道ヲ借上ゲテ居リマスガ、是ハ試驗的ニヤツテ居リマスノデ、其ノ經過ヲモウ少シ見テ、借上ゲルト云フコトガ果シテ宜イコトデアルカドウカ、吟味シテ見タイト思フノデアリマス、斯ノ如クシテ吾々ハ地方鐵道ノ使命ハ、地方鐵道トシテアルモノデアルト考ヘテ居リマスルガ故ニ、地方鐵道ノ使命ヲ全ウスル爲ノ運營ノ向上ニ付キマシテハ、補助其ノ他ノ方法ヲ以テ、宜シク誘導監督シテ行キタイト考ヘテ居リマス
○高見委員長 堀内君ハ非常ニ長クナリマスナラバ……
○堀内委員 長クナリマセヌ
○高見委員長 デハ堀内君
○堀内委員 ホンノ簡單ニ二三御尋致シマ

ス、今回ノ改正案ニ依ツテ見マスルト、要綱ノ第五項ニモ書イテアリマスガ、陸運監督ニ關スル權限ヲ事務簡捷ノ趣旨ヲ以テ地方鐵道局長ニ委任スル、ソレハ地方長官ト同ジヤウニ委任スルト云フコトガ書イテアリマスガ、此ノ範圍ハ無論軌道法ノ改正ノ場合デアリマスカラ、軌道ニ止マルモノト思フノデスガ、陸運ト云ヒマス、自動車等ニマデ是ガ及ブノデアリマセウカ、軌道ダケノ問題デアリマセウカ、其ノ點ヲ先ヅ承リタイ

屬シテ居リマスルガ、此ノ監督官廳ハ監督權ヲ有スル官廳ノ意味デアリマスカラ、官制ヲ改正致シマスレバ、即チ地方鐵道局長ガ出來マスモノデ、地方鐵道法ハ改正致サナカツタノデアリマス、自動車交通事業法ニ於キマシテハ、將來ニ於キマシテ此ノ自動車運輸事業ニ對スル監督モ、地方鐵道局長ニサセタイトハ思ヒマスガ、ソレダケノ爲ニ自動車交通事業法ヲ改正スルニモ及バナイト思ヒマシタノデ、此ノ度ハ改正致シマセヌデシタ

國有鐵道ト私設鐵道、國有鐵道省營「バス」ト私營「バス」、軌道等ノ場合ニ於テモ、始終相剋摩擦ヲ起スコトガ、ヨク營業上ニアルノデアリマス、其ノ一々ノ例ハ擧ゲナクテモ是ハアル、又ソレハアルベキ筈デアル、一緒ノ商賣ヲシテ居レバ、職敵ノヤウナ場合モアルデアリマセウ、ソレハ職敵ノヤウナ偏狹ヲ考テ持ツテヤルノデハナイデアリマセウガ、一緒ニ商賣ヲヤツテ居レバ、必ズシモ利害ガ兩立シナイ、ダカラ私共ノ理想トシテハ、鐵道省ノ組織モ、運輸局ト云フヤウナ實際仕事ヲシテ居ルモノハ外局ニシテ、寧ロ昔ノ營業作業局ト云フヤウナモノニシテ、外局ニシテシマツテ、サウシテ鐵道大臣ハ、私設鐵道モ國有鐵道モ其ノ營業ヲ同ジヤウニ監督スル、斯ウ云フ組織ニナラナケレバイカスト、私共ハ私設業者ノ立場カラ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ地方鐵道局長ガ監督スル權限ヲ持ツ——今マデ權限ヲ持タナクテモ、隨分色々サウ云フ相剋摩擦ヲ起スコトガ多々アツタノデアリマスガ、ソレニ權限ヲ持タセルト云フコトニナルト、是ハサウ云フ弊害ガ澤山起ツテ來ルト私ハ思フ、殊ニ事務簡捷ト云フ御趣意デ居ラツシヤルカ分リマセヌガ、地方長官ト二ツ持ツコトニナル、今日地方長官ノ監督

デサヘモ中々面倒デアリマシテ、地方長官決定スル問題ハ殆ド無イ、皆本省マデ來テ大臣ノ決裁ヲ仰ガナケレバナライノデアリマスガ、之ヲ又一ツ地方鐵道局長ノ方ノ側モ同ジ監督權ヲ持タレル、是ハ會社ノ商賣人ノヤウナ場合デアリマスレバ、一寸立上ツテ話モ出來ルシ、書類ニ判ヲ捺スト云フコトモ出來マスガ、鐵道局ト云フヤウナ役所デハ、中々サウ簡單ナ譯ニハ參ラスノデアリマスカラ、却テ事務簡捷ノ反對ニ、非常ナ事務ノ停滯ヲ來スコトニナルノデハナイカト思フ、能ク地方ノ事情ガ分ツテ居ルト云フコトヲ仰シヤルノデアリマスケレドモ、今日ハ通信機關モ發達シテ居リマスシ、又日本内地ノ斯ウ云フ交通狀態等ニ關スルトハ、以前カラ見ルト總テノ機關ヲ通ジテ能ク分ツテ居ル、今マデハサウ云フコトガアツテモ、寧ロソレヲ撤廢シテ、サウ云フコトノ無イヤウニスルコトコソ、此ノ時勢ニ適シテ居ルコトデハナイカト思フノデアリマス、ソレヲ今更却テ斯ウ云フ關門ヲ一ツ殖ヤシテ、サウシテ面倒ナコトヲ多クスル、其ノ爲ニ面倒手數ダケデアレバ宜シウゴザイマスケレドモ、商賣ヲシテ居ルノデアリマス、地方鐵道局ト云フモノハ、主トシテ商賣ヲシテ現業ヲヤツテ居ルノデアリ

○鈴木政府委員 軌道法中改正法律案ニ、鐵道大臣ノ權限ヲ地方長官ノ外ニ鐵道局長ニ委任スルコトニ改正致シマシタノデアリマスガ、是ハ地方鐵道局長ハ、其ノ當該地方ニ於キマスル所ノ運輸交通ノ狀態ヲ能ク知ツテ居ル、又既設ノ鐵道ノ内容モ、或ル方面ニ於テハ本省ニ居ルヨリモ能ク具體的ニ分ツテ居ル、サウ云フヤウナ狀態デアリマスノデ、事務簡捷、運賃ノ割引、其ノ他營業ニ關シマスル輕微ナル事項、及ビ屈出報告ナドニ付キマシテ、地方鐵道局長ニ權限ヲ委任シタイト思フノデアリマス、地方鐵道法中ニ其ノ改正ガゴザイマセヌガ、地方鐵道法デハ主務大臣又ハ監督官廳ト解釋致シマシテ、只今ニ於テハ共ニ鐵道大臣ニ

○堀内委員 私ハ此ノ地方鐵道局長ヲ信任シナイ意味デ申上ゲルノデハナイノデアリマスルガ、此ノ軌道ハ今ノヤウナ風ニ是デヤラセル、行ク——ハ地方鐵道モ自動車モ大臣ノ權限デアルカラ、實ハヤラシテ宜シイヤウナ御意見モアルヤウデアリマスガ、却テ御見込ヨリ逆ノ結果ヲ齎スノデハナイカト思ヒマス、私ハ先年モ此ノ點ハ能ク豫算委員會デモ申上ゲタコトガアツタノデアリマスガ、一體今ノ鐵道省ノ組織ガ私共ノ考カラ見ルト宜クナイト思フ、ナゼカナラバ、大臣ガ一方ニ業務ヲ監督スル權限ヲ持ツテ居リ、サウシテ其ノ一方ニ於テ營業ヲヤツテ居ル、監督權ト實際ノ營業ト云フヤウナモノハ、是ハモウ一致シナイ、時々

國有鐵道ト私設鐵道、國有鐵道省營「バス」ト私營「バス」、軌道等ノ場合ニ於テモ、始終相剋摩擦ヲ起スコトガ、ヨク營業上ニアルノデアリマス、其ノ一々ノ例ハ擧ゲナクテモ是ハアル、又ソレハアルベキ筈デアル、一緒ノ商賣ヲシテ居レバ、職敵ノヤウナ場合モアルデアリマセウ、ソレハ職敵ノヤウナ偏狹ヲ考テ持ツテヤルノデハナイデアリマセウガ、一緒ニ商賣ヲヤツテ居レバ、必ズシモ利害ガ兩立シナイ、ダカラ私共ノ理想トシテハ、鐵道省ノ組織モ、運輸局ト云フヤウナ實際仕事ヲシテ居ルモノハ外局ニシテ、寧ロ昔ノ營業作業局ト云フヤウナモノニシテ、外局ニシテシマツテ、サウシテ鐵道大臣ハ、私設鐵道モ國有鐵道モ其ノ營業ヲ同ジヤウニ監督スル、斯ウ云フ組織ニナラナケレバイカスト、私共ハ私設業者ノ立場カラ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ地方鐵道局長ガ監督スル權限ヲ持ツ——今マデ權限ヲ持タナクテモ、隨分色々サウ云フ相剋摩擦ヲ起スコトガ多々アツタノデアリマスガ、ソレニ權限ヲ持タセルト云フコトニナルト、是ハサウ云フ弊害ガ澤山起ツテ來ルト私ハ思フ、殊ニ事務簡捷ト云フ御趣意デ居ラツシヤルカ分リマセヌガ、地方長官ト二ツ持ツコトニナル、今日地方長官ノ監督

デサヘモ中々面倒デアリマシテ、地方長官決定スル問題ハ殆ド無イ、皆本省マデ來テ大臣ノ決裁ヲ仰ガナケレバナライノデアリマスガ、之ヲ又一ツ地方鐵道局長ノ方ノ側モ同ジ監督權ヲ持タレル、是ハ會社ノ商賣人ノヤウナ場合デアリマスレバ、一寸立上ツテ話モ出來ルシ、書類ニ判ヲ捺スト云フコトモ出來マスガ、鐵道局ト云フヤウナ役所デハ、中々サウ簡單ナ譯ニハ參ラスノデアリマスカラ、却テ事務簡捷ノ反對ニ、非常ナ事務ノ停滯ヲ來スコトニナルノデハナイカト思フ、能ク地方ノ事情ガ分ツテ居ルト云フコトヲ仰シヤルノデアリマスケレドモ、今日ハ通信機關モ發達シテ居リマスシ、又日本内地ノ斯ウ云フ交通狀態等ニ關スルトハ、以前カラ見ルト總テノ機關ヲ通ジテ能ク分ツテ居ル、今マデハサウ云フコトガアツテモ、寧ロソレヲ撤廢シテ、サウ云フコトノ無イヤウニスルコトコソ、此ノ時勢ニ適シテ居ルコトデハナイカト思フノデアリマス、ソレヲ今更却テ斯ウ云フ關門ヲ一ツ殖ヤシテ、サウシテ面倒ナコトヲ多クスル、其ノ爲ニ面倒手數ダケデアレバ宜シウゴザイマスケレドモ、商賣ヲシテ居ルノデアリマス、地方鐵道局ト云フモノハ、主トシテ商賣ヲシテ現業ヲヤツテ居ルノデアリ

マスカラ、是ハ必ズ相剋摩擦ヲ起ス、今日マデハ相剋摩擦ヲ起シマシテモ、兩者ノ間ニ於テ決定セズニ、本省デ御裁決ヲナサルノデアリマスカラ、無論公平ナコトニナル、併シ地方鐵道局長ガヤツテ不公平トハ申シマセスケレドモ、ドウシテモ自分ノ所デ商賣ヲヤツテ居ル、其ノ商賣ノ利害關係ト云フモノガ、ソレニ一ツ加ハルノデアリマスカラ、私ハ公平ノ處置ハ出來ナイデハナイカト云フ點ヲ心配スルノデアリマス、ソレハ私ノ希望モ多イヤウデアリマスガ、尙ホソレ等ノ點ニ付テ將來弊害ガ起ラナイデ、果シテ事務簡捷ノ趣旨ヲ以テ、圓滑ニ是ガ改善ノ方針ニ向ツテ進ミ得ルト云フ御意見ヲ、モウ一度伺ツテ置キタイと思フ

○鈴木政府委員 作業ヲヤツテ居リマス官廳ガ、他面ニ於テ監督ヲスル官廳デアルト云フコトガ、行政組織上宜イコトデアルカドウカト云フコトハ、從來議論ガアツタコトデアリマスルガ、鐵道院設置ノ際ニ於キマシテモ、鐵道ノ現業ヲ掌ル仕事ハ、鐵道行政ニ密接ナル關係ガアルト云フ趣旨ノ下ニ、明治四十一年ニ於テ遞信省鐵道局ノモノガ移サレタノデアリマシテ、是モ中央官省ニ於キマシテモ、現業ノ事情ニ精通シ、作業ノコトガ能ク分ル者ガ監督スルコトガ

宜イノダト云フ趣旨デアラウト思ヒマス、地方官廳ニ於テモ、ソレト同ジヤウデアリマシテ、能ク現場ノ事情ニ通ジテ居ラナイデ、殊ニ輕微ナル營業上ノ事項ニ付テ本省カラ色々指導スルコトハ、二階カラ眼藥ヲ落サウナ觀ガアルノデアリマス、殊ニ營業ノ輕微ナル事項ト云フモノハ、省線トノ連帶關係カラ生ズルモノガ非常ニ多イノデアリマス、ソレデアリマスカラ、地方鐵道局ガ誘導スルコトガ却テ宜シイト思フノデアリマス、現今ニ於キマシテハ、交通調整法ガ施行セラレテ、各交通機關ガ各々力ヲ協セ、一體トナツテ、地方交通並ニ全般ノ交通ニ役立ツベキモノデアルト云フ趣旨ハ、鐵道局長ハ固ヨリ鐵道ノ現場職員モ其ノ趣旨ヲ十分込吞ミ、ソレニ依ツテ指導セラレテ居ルノデアリマシテ、御尋ノ如キコトハ一ツノ杞憂ニ過ギナイダラウ私ハ思フノデアリマス、殊ニ本省ニ於キマスル監督事務ト云フモノハ、此ノ頃非常ニ複雑化シ、其ノ内容ガ細カクナツテ參リマシタノデ、營業ニ關スルホシノ輕微ナ事項マデモ一々審議シマスコトハ、調査ニ對シテ不十分ノ嫌ヲ生ジマスシ、時間モ非常ニ掛ルノデアリマス、御話ノ如ク地方長官ニモ軌道ニ付テハ或ハ委任權限ガアリマスガ、地方長官ハ

主ニ道路警察ニ關スルコトヲ掌ツテ居ルノデアリマシテ、運輸營業ニ關スル事項ニ付キマシテハ、其ノ專門デアアル所ノ鐵道局長ガ、極ク輕微ナル所ノ營業ニ對シマスル監督ヲ致シマスツカ、或ハ報告ヲ受領スル方ガ、却テ地方鐵道ヲ統制シ、地方鐵道ヲ誘導スル上ニ於テハ、吾々ハ宜イカト考ヘタノデアリマス、或ハ手續上複雑ヲ増サウナコトガアツテハ、此ノ事務簡捷ノ爲ニ設置シタ所ノ吾々ノ趣旨ニモ反シマスノデ、其ノ事項ニ付テハ御杞憂ノ點ハ十分警戒致ス積リデアリマス

○堀内委員 其ノ問題ハ少シク意見ガ相違シテ居リマスガ、其ノ程度ニ致シマシテ、今回買收規定ニ於テ買收價格ノ算定ノ方法ガ變ツタヤウデアリマスガ、是ハ先般來御説明ヲ伺ツタノデアリマスガ、結局五分利公債ト云フモノノ發行ハ出來ナイコトニナツテ居ル、ソコデ交付公債モ三分五厘ノ公債ヲ以テ交付スル、サウシテ其ノ買收決定額ハ、公債ノ時價ニ依ツテ交付スル、斯ウ云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスカー——ソコデ伺ヒマスガ、以前ノ鐵道買收規定ヲ伺ツテ見マスツ、利益主義、例ヘバ既往三箇年間ノ利益率ヲ平均シテ、ソレガ五分ニ達スル、勿論建設費ヲ乗ズルト云フ算定モ、ソ

レニ伴ツテ居リマセウケレドモ、大體利益ヲ主トスルト云フノデアリマスカラ、大難把ニ考ヘテ丁度五分ノ利益ガアル鐵道ヲ經營シテ居ツタ者ガ、買收シテ貰フ時ニハ額面五十圓ノ價格ガ貰ヘル、公債額面ノ價格ニ換算致シマシテ五十圓貰ヘル、五十圓額面ノモノガ貰ヘルバ五分ノ利率ガ年々付イテ來ル、サウスルト鐵道ノ方デ五分ヅツノ利益ヲ舉ゲテ行クト同ジ結果ニナルト云フ風ニ、大難把ニ考ヘテ居ル、又標準ノ利益率ト云フコトデアリマスレバ、今度ハサウ云フコトニ頓着セナイヤウナコトニナリマシテ、唯公債ノ額ニ依ツテ交付スルト云フコトニナリマスツ、五分利公債ト三分五厘公債トハ貰フ方デ非常ナ違ヒガ出テ來ル、成程公債ノ額面ハ、今日三分五厘公債ガ百圓ヲ維持シテ居レバ、額面カラ言ツタラバ五分利ノ公債モ三分五厘ノ公債モ百圓ダカラ、買收價格ニ依ツテハソコニ相違ハナイデアリマセウガ、之ヲ今度銘々ガ所持シテ居ルト云フ場合ニスルト五分利公債ノ場合ハ五分ノ利益ガ貰ヘル、恰モ會社デ經營シテ居ツテ五分ノ利益配當ヲ受取ツタト同ジ結果ニナリ、所ガ同ジ公債ヲ貰ツテモ三分五厘ノ公債ダト、三分五厘シカ利益配當ハナイ譯デアツテ、之ヲ持ツテ居ル株主其ノ他

ニハ非常ニ利害關係ガ變ツテ來ル、第一根本ニ於テ其ノ利益換算主義ヲ變更シテ、公債ノ價格ニ於テモ建設費ノ金額ニ依ル、斯ウ云フ風ニ今度變ツテ來ル譯ナノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○鈴木政府委員 御質問ノコトデアリマスガ、大體現在ニ於ケル買收規定ノ根本趣旨ガ、從來其ノ鐵道ガ舉ゲテ居リマシタ所ノ收益ト、交付セラレル所ノ國債ノ利子トガ同一額デアルト云フ趣旨ノ下ニ、五分還元ガ制定サレテ居ツタノデハナイカ、其ノ趣旨ニ今度ハ悖ルデハナイカト云フ御尋ダト解釋スルノデアリマスルガ、只今申シマシタヤウニ、從來ノ會社ノ收益ト國債ニ於キマスル利子ト同一ナラシムル趣旨デ、現行規定ガ作ラレテ居ルト言ハレテ居ルノモアルノデアリマスルガ、果シテ其ノ趣旨ニ合フカドデアリマスルカ、私審カニシナイノデアリマスルケレドモ、現行ニ於キマスル所ノ單行法ヲ見マスル時ニ、或ハ現在ノ買收規定ニ於キマスル五分未滿ノ規定ヲ見マスル時ニ於テハ、此ノ收益ト利子トヲ一致セシメル所ノ思想ト云フモノハ、全然崩レテ居ル譯デアリマス、現在ニ於キマシテモ三分五厘ノ公債ヲ渡サレテ居リマスルモノデアリマスルカ、所謂五分ノ公債ヲ貰ヘ

ル時ヨリハ、即チ一分五厘ダケ利子ガ少イノデアリマシテ、ソレハ此ノ改正ニ依ツテモ現在ニ於テモ同ジナノデアリマス、唯違ヒスル所ハ、買收價額ヲ出シマシタ時ニ、一度時價ニ依リマシテ五分利ニ換算シテ居ルモノヲ、今度ハシナイデ直グ三分五厘ニ換算シテ居ルト云フ點ダケガ違フノデアリマス、左様御諒承置キヲ願ヒマス

○堀内委員 私ハ其ノ點ヲ少シ根本的ニ一ツ御考置キヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、一體鐵道ノ買收法ハ、御承知ノ通り強制買收デ、強制的ニ買收サレルモノデアリマスルカラ、異論ハ言ヘナイ譯ニナル、ソコデ以前ノ方法デ行キマス、五分利公債ヲ交付セラレルコトニナリ、既往三箇年間ノ利益率ヲ標準トスルト云フヤウナコトデアリマスルカラ、其ノ交付サレル所ノ金額ガ百圓ニ對シテノ五分ノ割合ニ取レル、マア今日マデハ其ノ方法ガ、内部デ事情ガ色々變ツテ居ルヤウデアリマスルガ、根本ノ理窟カラ言ツテサウ云フコトニナル、ソレガ三分五厘ノ公債ヲ貰ヘバ、三分五厘シカ貰ヘナイカラ一分五厘少クナル、ケレドモ是ハ利益主義カラ行ケバ五分貰ヘルト云フコトガ本當ナンデ、五分ヲヤラナケレバナラヌコトニナルノデアリマスガ、若シ三分五厘ノ公債ヲ渡ルト云

フコトニナルト、今度ハ物ノ價額主義デ、價額ノ下ニ變化ヲ來スベキ結果ニナルノデヤナイカ、利益主義カラ行ケバ、オ前ノ所ノ鐵道ハ五分ガ三年間ノ平均デ出テ居ルノダカラ、五分ノ割合ニナレバ宜イデヤナイカ、ソレデ收入ガアレバ宜イデヤナイカト云フコトニナルト、ソレハ丁度會社ノ株ヲ持ツテ五分ノ配當ヲ受ケテ居ルノ同ジニナル、ソレデ自分ノ計算ヲ立テル、若シ鐵道ガ六分トカ七分ノ平均率ニナレバ、ソレニ相當スル公債ヲ貰ヘバ宜イ、所ガ今度三分五厘ダカラ株主ガ貰フ金額ガ減ツテ來ル、ソコデドウ云フコトニナルカト云フト、私ハ之ヲ利益主義ニスルカ價額主義ニスルカト云フコトニ依ツテ、是ハ非常ナ違ヒガアルト思フ、今ノヤウナ利益主義ニスルナラバ、建設費ト云フモノヲ何處マデモ押ヘテ置イデ、サウシテ建設費ト利益歩合ト云フモノヲ組合セテ買收價額ヲ決メレバ、ソレデ公平ニナル、所ガサウデナイノダト云フコトデ、五分利公債ガ三分五厘ニナルト云フヤウナコトニナリマシテ、價額ハ同ジダカラ同ジデモ宜イデヤナイカト言フカモ知レナイガ、ソレハ原ノ價額ハ同ジダケレドモ時價ガ非常ニ違ツテ來ル、若シ之ヲサウデナシニ、物ノ價額主義デ行クト

云フコトニナレバ、是ハ建設費ト云フモノヲ見直サナクテハイカスト私ハ思フ、今日敷設スル鐵道ト、或ハ二十年前、三十年前ニ敷設シタ鐵道トハ、其ノ建設費ナドハ比較ニナラナイ、又現在ニ於キマシテモ建設スル上ニ於テ、斯ウ云フヤウナ非常時ノ場合ハ別デアリマセウケレドモ、機關車ニシテモ其ノ他ノ物ニシテモ、總テノモノガ買ツタ時以來十年、二十年使ツテモ、マダ今賣レバズツソレ以上ニ高ク賣レルト云フコトニナツテ來テ居ル、線路ヲ造ルニシテモ其ノ通りデアアル、デアリマスルカ、若シ利益換算主義ノ方ヲ捨テスルト云フナラバ、此ノ建設費ノ計算ト云フコトヨリモ、買收價額ト云フモノヲ根本カラ變ヘテ行カナケレバイカヌデヤナイカ、今日見テ相當ノ價額ニ直シテ、以前百萬圓掛ツタ建設ノ鐵道ニシテモ、二百萬圓ノ價値ガアルト云フコトナラバ、其ノモノヲサウ云フヤウナ標準ニシテ見テヤルヤウナ結果ニナルコトガ至當デハナイカ、強制的ニ人ノモノヲ取上ゲテシマフト云フヤウナ時ニ、五分利ノ公債ヲ貰ヘバ、配當ガ五分取レタヤウナコトニナツテ居ルカラ、自分ノ收入ガソレ程餘計アツテ、ソレデ經濟ヲ取ツテ行クノデアリマスルケレドモ、今度三分五厘ニナ

ツテシマフト、サウ云フコトガ出來ナクナルノデアリマスカラ、是ハ何方カ一ツ根本カラ方法ガ變ツテ來ルモノデヤナイカト思フノデアリマスガ、唯單ニ五分利ノ公債ハ今發行ガ出來ナイノダカラ、三分五厘ノ公債ヲヤルノダ、額面デ實際ノ價額ガ同ジダカラ宜イデヤナイカ、斯ウ簡單ニ考ヘテ居ルノデハナイカト私ハ思フ、其ノ點ヲ一ツ……

○鈴木政府委員 御質問ガ少シ多岐ニ互ツテ居ルヤウデアリマスガ、第一ノ今三分五厘ノ公債デ利子ノ點ニ於テ、現行單行法ニ依ツテ行ツテ居リマスモノモ、今度ノ改正案ニ依リマスモノモ、共ニ所謂三分五厘ノ利子シカ入ラナイノデアリマス、唯單行法ヲ別ニシマシテ、所謂五分利デ貰ツタ時ニ、國債ノ利子ト收益率ヲ同一ナラシムルト云フ趣旨ヲ改正ノ時モヤレト云フコトニナレバ、其ノ趣旨ヲ徹底シマスレバ、三分五厘デ還元スルヨリ外ナイノデアリマス、サウシマス今ノ五分還元デ假ニ利益ガ十萬圓デアツタモノヲ、二十倍スルト二百萬圓ノ鐵道ニナル、所ガ三分五厘トシマスト二百八十七萬圓位ニナルカト思ヒマスガ、八十七萬圓ト云フ大キナ開キガ出來ルノデアリマス、現在ノ企業價值其ノ

他ヲ算定致シマスル時ニ、三分五厘ノ還元方法ヲ用ヒルト云フコトガ世ノ中デ許サルベキコトデアルカドウカ、私達ハ非常ナ疑問トシテ居ルノデアリマス、次ニ建設費ハ實費決算額ニ依ツテ居ル、所謂商法ニ於ケル所ノ時價主義ト違ツテ居ル、ソレデアルカラ若シ價格デ見ルナラバ、建設費ヲ再評價シロト云フ御話デアリマスガ、現在ニ於キマスル所ノ建設費ヲ再評價致シマスルコトハ、鐵道ノヤウナ事業ニ於キマシテハ、事實上非常ニ困難ヲ伴ヒ、又買收價額ヲ假令決メテモ、交付スルマデニ非常ナ月日ヲ要スルコトト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデアルカラ吾々ハ、此ノ買收價額ノ規定ニ對スル根本ニ於キマシテハ、此度ノ改正ハ何等變ヘテ居ラナイノデ、國債ノ換算方法ダケニ於テ改正ヲ止メタ次第デアリマ

ス
○堀内委員 價格ヲ算定スルノニ非常ニ面倒デアルトカ、急ニ行カストカ云フ問題ハ是ハ別トシマシテ、公債ガ五分利ノモノハナイノダカラ、三分五厘ニスルヨリ仕方ガナイト云フヤウナコトモアリマスガ、公債政策トカ、サウ云フ計算ノ方法トカ云フコトハ又別トシマシテ、兎ニ角私設鐵道ヲ強制的ニ買收スルコトニ於テ、今日マデノ方

法トシテハ、大體今申上ゲルヤウナ利益率カラ換算シテ來ルノデスカラ、建設費ノ方ニ何等手ヲ觸レナイデ宜イ、ソレハ規則ニモサウ云フコトハ載ツテ居ルノデスカ、今度ハ低金利時代ダカラ、公債ノ利率モ下ルノダト言ヘバ宜イヤウナモノデセウケレドモ、中々サウハ行キマセヌ、何處ノ會社ノ例ヲ見マシテモ、ヤハリ低金利時代デモ、相當高度ノ配當ヲシテ居ル會社ガ澤山アル、サウ云フコトデアリマスルカラ、私ノ考ハ強制買收デ、他人ノ拵ヘタ私設鐵道ヲ殆ど取上ゲテシマフヤウナコトニナル、ソレニハ時勢モ變ツテ居ル、又先ノ方法ノ利益主義ニ依ツテ算盤ヲ立テタ所ノ順序デ行クナレバ、建設費ヲ動かサナクテモ宜カラウケレドモ、サウデナイモノヲ、二十年、三十年前ノ物ノ安イ時ニ拵ヘテ、今其ノ鐵道ヲ造ラウトスレバ、中々ソソナコトデハ出來ナイ、出來ナイノデアリマスルガ、不幸ニシテ其ノ鐵道ノ營業成績ガ惡イ、惡ケレバ今ノ利益率ヲ還元シテ行クコトニ依ツテ、二十倍、三十倍ト云フコトニ大體ナルノデスカラ、マア利益率ガ惡ケレバソレハ已ムヲ得ナイノデアリマスケレドモ、ソレヲ基礎トシテ、建設費ト云フモノヲ一定ノモノナリトシテ、ソレニ拘泥セズニ、價值ノア

ルモノナラバ、其ノ評價モ仕直スノガ私ハ本當ノ改正方法デハアルマイカト思フ、ソレダカラ、ソレハ其ノ通りノモノニシテ置イテ、五分利公債ハ出來ナイカラ三分五厘ノ公債ニシテ、額面ガ同ジデアレバソレデ宜イデヤナイカト云フ簡單ナモノデヤナイト思フ、人ノ所有物ヲ強制的ニ取上ゲルノダカラ、ソレナラバ公平ナコトヲシテヤラナケレバナラス、現ニソレモ物ノ變動ガアルノダカラ、何處ノ私設鐵道ニシテモ中々今拵ヘタラ大變ナ金ガ要ルノダカラ、サウ云フコトヲ加味シテ、根本ニ變ツテ、地方鐵道法ノ買收規定ヲ變ヘルノニハ、ソコヲ十分御考慮ニナツテ立案サレルコトガ、必要デハナイカト私ハ信ジテ居ル

○鈴木政府委員 先程申上ゲマシタ如ク、現在ニ於ケル買收規定ガ、所謂國債ノ利子ト從來ノ收益ト同一ナラシメル方法デアルカ、或ハ利益ヲ還元スル方法ヲ持ツテ居ルカ、其ノ間詳カデナイノデアリマスルガ、所謂利益ヲ或ル一定率デ二十倍ニシタト云フコトハ、御存ジノ如ク五分還元デアリマスガ、還元致シマスレバ、ソレハ其ノ企業價值ガ出ルノデアリマスカラ、私ハ其ノ五分還元ヲシテ居リマスル現行ノ規定ガ、地方鐵道ニ於テモ無理カラヌコトダト考

ヘテ居リマスルノデ、唯其ノ出タ金ヲ交
付公債ヲ以テ渡シマス場合、三分五厘ノ時
價デ換算スル故ニ、價額ト致シマシテハ、
處分價額ニ於テハ、全然五分還元シタノト
同様ノ處分價額ガ出ルノデアリマスカラ、
吾々ニハ差支ナイト思フノデアリマス、唯
還元率デ行クト云フヤウナ、五分デ宜イカ
ドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、尙ホ將
來ノ問題モアリマスノデ、研究サレルベキ
問題ト思ヒマスケレドモ、制度トシテハ
正シイノデヤナイカトサウ考ヘテ居リマス
○堀内委員 大體諒解シマシタガ、唯誤解
ノナイヤウニシテ置キタイ、五分還元ガ即
チ二十倍ニナル、所ガ三分五厘ト云フコト
ニナルト、二十倍ト云フモノハ非常ニ少ク
ナルノデアリマスカ、モツト多クナラナケ
レバナラヌモノモ出テ來ルデアリマセウ、
今度ノ改正デ金ヲ拂フ方デハ、公債ノ時價
ガ五分利公債デモ三分五厘公債デモ同ジデ
ゴザイマスカラ、ソコニ相違ハナイデヤナ
イカト云フ議論モアルガ、貰フ方ノ人カラ
言ヘバ非常ニ違フ、三分五厘公債ヲ貰フノ
ト、五分利公債ヲ貰フノトハ非常ナ違ガア
ル、其ノ場デ公債ヲ賣ツテ、金ニ換ヘテ何
カショウト云フモノハ、ソレハ理窟モ立ツ
ノデアリマスカ、サウデナク其ノ公債ヲ大

切ニ持ツテ、公債ノ利子ニ依ツテ自分ノ經
濟ヲ進メヨウト云フヤウナモノニナルト、
非常ナ違ガ出ル、今デコソ私設鐵道ト云フ
モノハ大分景氣ガ悪クナツタガ、前ニハ鐵
道株ハ一ツノ世襲財産トシテ宜イト言ハレ
テ居ツテ、サウ云フ意味デ鐵道株ヲ持ツテ
居ル人ガ相當アル、デアリマスカラ、株ヲ
確實ニ持ツテ居ルモノト前提ヲシテ買收シ
ナケレバ、其ノ買收ニナツタ所ノ交付公債
モ持ツテ居ルモノト見ナケレバナラヌ、一
方ハ強制買收ヲスルト云フノデアリマスカ
ラ、其ノ懷ロノ實際ノ計算ヲ、モウ少シ根
本的ニ考ヘ直ス必要ガアルノデハ、ナイカ
ト、斯ウ云フ意味デアリマス、大體ハ其ノ
點ハソレ以上御聽キショウト思ヒマセヌ
ガ、實際ニ於テ株ヲ持ツテ居ル者カラ見ル
ト、サウ云フモノデナイト云フコトヲ申上
ゲテ置キマス
○高見委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會
致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマ
ス

午後零時十分散會

昭和十四年三月四日印刷

昭和十四年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局